

売上

(16/2Q)

■ 連結売上高：47.8億円（前年比5.9%増）

- ・主力の“Wish upon a star”の売上が前年比33.0%増と引き続き好調で増収に貢献。
- ・ブライダル商品が前年比11.3%増と堅調に推移し、販売単価の向上に寄与。

利益

(16/2Q)

■ 連結売上総利益：30.8億円（前年比8.1%増）

- ・高付加価値の“Wish upon a star”の構成比拡大により、粗利率が1.3ポイントUP。
- ・ベトナム子会社製品での売上構成比は49.4%となり、商品原価率の低減に寄与。

■ 連結営業利益：0.6億円（前年同四半期営業損失1.6億円）

- ・売上総利益の増加に対して販売費及び一般管理費が横ばいで営業利益は大幅改善。
- ・グループマネジメント体制の強化による海外事業の成長が奏功し、連結業績に寄与。

16/8月期 通期予想

■ 連結売上高：96.0億円（前年比4.5%増）

■ 連結営業利益：1.7億円（前年比34.5%増）

- ・当第2四半期の業績は前年同期比で大幅改善も利益面は予想に対して下振れ。
- ・当第2四半期の実績と構造改革の実行を踏まえ、利益面において通期予想を修正。

1. 連結業績（経営成績）

業界内競争の激化に加え宝飾需要の低迷など逆風がある中、
継続課題はあるものの、成長戦略投資・育成の着実な進展で業績は大幅改善

＜経営成績（連結）＞

（単位：百万円）

	2015/2Q （累計）	売上 構成比	2016/2Q （累計）	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	4,516	100.0%	4,782	100.0%	5.9%	266
売上総利益	2,854	63.2%	3,087	64.6%	8.1%	232
販売費及び 一般管理費	3,018	66.8%	3,018	63.1%	0.0%	0
営業利益	△163	△3.6%	68	1.4%	－%	232
経常利益	△160	△3.6%	47	1.0%	－%	208
四半期 純利益	△116	△2.6%	2	0.1%	－%	119

売上高は、“Wish upon a star”を基軸としたプロモーション施策の継続推進により、前年同期比5.9%の増加。

利益面は、費用が前年並みにもかかわらず増収となったことに加え、粗利率の上昇により売上総利益が前年同期比8.1%増したことから、営業利益、経常利益は黒字転換を実現。

海外事業は、販売部門の台湾子会社が堅調に推移したことに加え、生産部門となるベトナム子会社もSPA企業としての中核に成長。

2. 連結業績(財政状態)

「商品及び製品」や「原材料」を戦略的に増加し、「現金及び預金」が減少したため、中間期での総資産は前期末とほぼ横ばいで推移

(単位:百万円)

		2014/4Q	2015/4Q	2016/2Q	前期比 増減額
資産	流動資産	4,908	5,497	5,487	△10
	固定資産	1,179	1,426	1,447	21
	繰延資産	5	3	1	△1
	合計	6,093	6,926	6,936	9
負債	流動負債	3,693	3,723	3,788	65
	固定負債	952	1,729	1,715	△14
	合計	4,646	5,453	5,503	50
純資産	株主資本	1,445	1,437	1,417	△19
	その他	2	36	15	△20
	合計	1,447	1,473	1,433	△40
負債純資産合計		6,093	6,926	6,936	9

販促施策の強化に向けた対応や新規出店の増加に伴う在庫の拡大等により「商品及び製品」が161百万円の増加、「原材料」が34百万円の増加に対して「現金及び預金」が138百万円減少したことが要因。

「社債」が50百万円減少したことに対して「支払手形及び買掛金」が44百万円、「長期借入金」が30百万円増加したことが要因。

「為替換算調整勘定」が25百万円減少したことに加え、「配当金」を22百万円支払ったことが要因

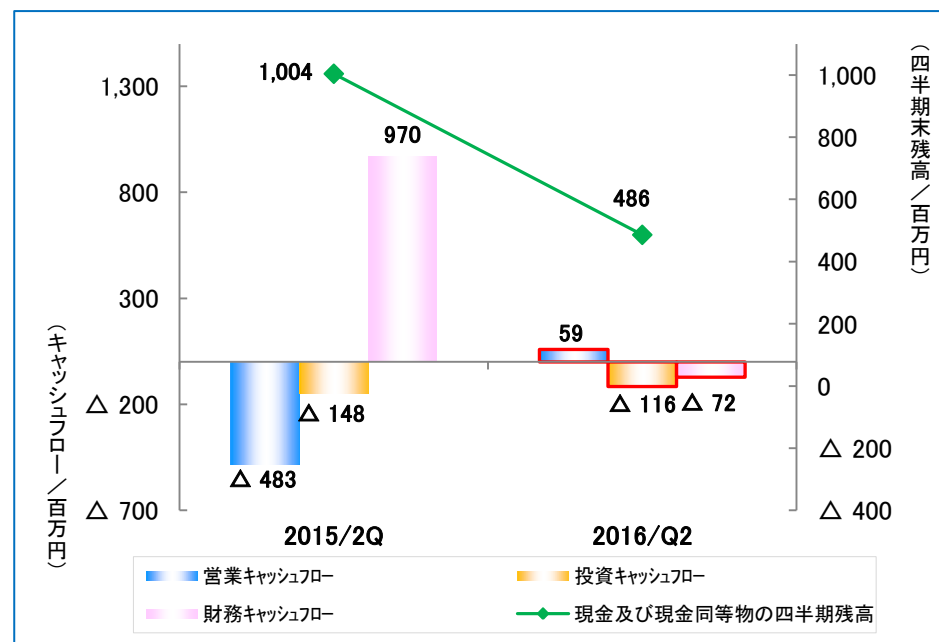
自己資本比率は20.3%となり、前期末に比べ0.7ポイントの減少。

3. 連結業績(キャッシュフロー)

営業活動により59百万円の資金を獲得し、投資活動で116百万円、財務活動で72百万円の資金を支出した結果、四半期末残高は486百万円に減少

(単位:百万円)

	2015/2Q (累計)	2016/2Q (累計)	増減額
営業 キャッシュフロー	△483	59	542
投資 キャッシュフロー	△148	△116	32
財務 キャッシュフロー	970	△72	△1,042
現金及び現金同等物に 係る換算差額	11	△9	△21
現金及び現金同等物の 増減額	350	△138	△489
現金及び現金同等物の 期首残高	654	625	△28
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,004	486	△517



- 営業キャッシュフローは、「税前四半期純利益」20百万円の計上に加え、「たな卸資産」を216百万円増までに留めた結果、59百万円のプラス。
- 投資キャッシュフローは、SCを中心とした新規出店に伴う設備投資で使用了資金が主な要因となり116百万円のマイナス。
- 財務キャッシュフローは、「長期借入金」の増加はあるものの「短期借入金」の返済、社債の償還等が主な要因となり72百万円のマイナス。

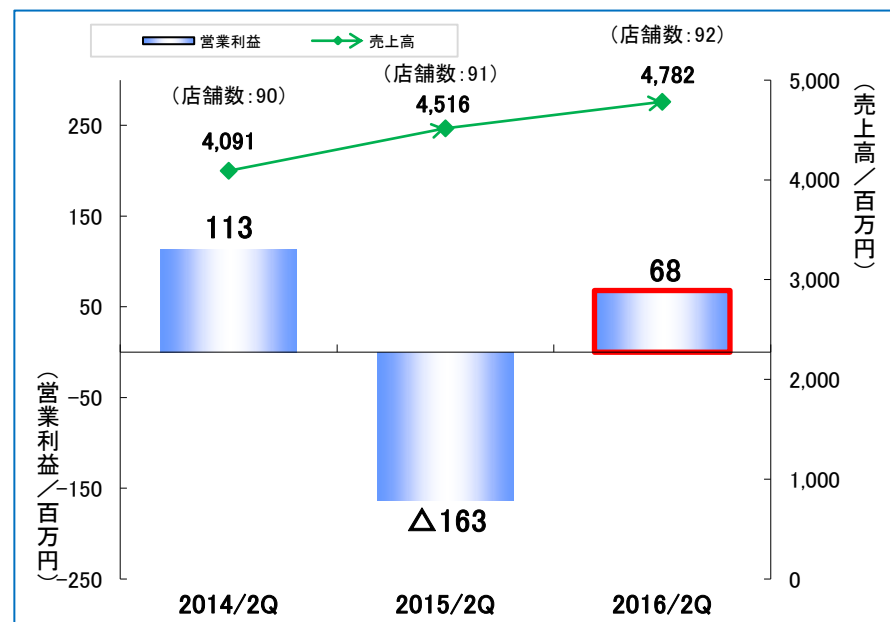
4. 連結業績の推移

全体コストは同水準で運用も、これまでの先行投資の成果が継続し、
第2四半期での業績は前年同期に比べ大幅に改善

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	2014/2Q (累計)	2015/2Q (累計)	2016/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	4,091	4,516	4,782	5.9%
売上総利益	2,610	2,854	3,087	8.1%
販売費及び 一般管理費	2,496	3,018	3,018	0.0%
営業利益	113	△163	68	—
経常利益	97	△160	47	—
四半期 純利益	41	△116	2	—



- 売上は期首の予想を上回ったものの、利益面に関しては、計画外費用が一部発生したため、期首予想に対しては未達。
- 海外展開の基盤となる台湾子会社の収益化やSPA体制の柱となるベトナム子会社の製造機能が着実に前進。

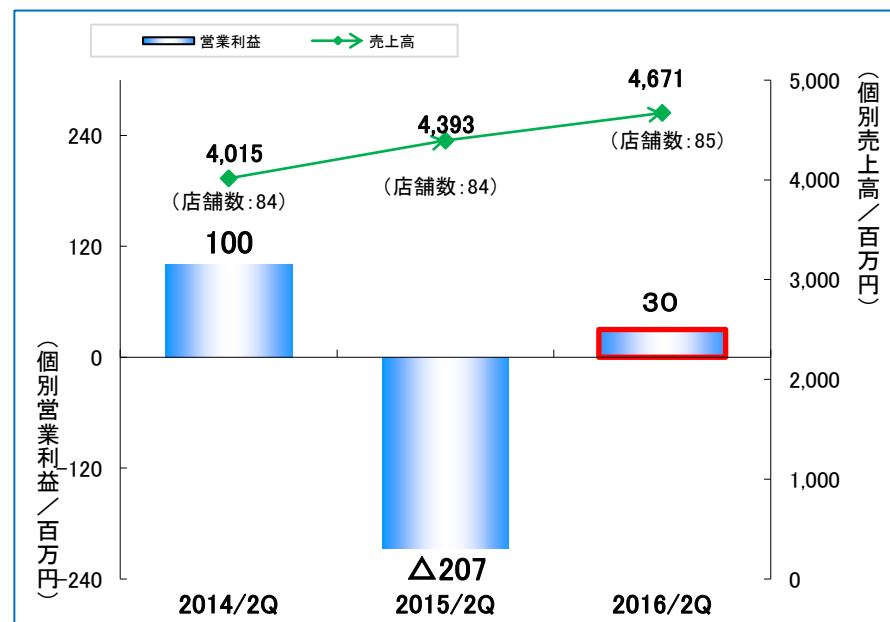
5. 個別業績の推移

厳しい事業環境の中、コストバランスを踏まえた運用が奏功し、
営業利益・経常利益は黒字転換を実現

<経営成績(個別)>

(単位:百万円)

	2014/2Q (累計)	2015/2Q (累計)	2016/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	4,015	4,393	4,671	6.3%
売上総利益	2,519	2,724	2,969	9.0%
販売費及び 一般管理費	2,419	2,931	2,939	0.3%
営業利益	100	△207	30	—
経常利益	80	△227	2	—
四半期 純利益	23	△177	△40	—



- 引き続き“Wish upon a star”が牽引し、売上高は6.3%増、売上総利益は9.0%増とトップラインは右肩上がりで推移。
- 12月商戦を見据えたTVCMは継続も、前期の課題を踏まえたローコストオペレーションの並行実施により、個別も営業黒字を達成。

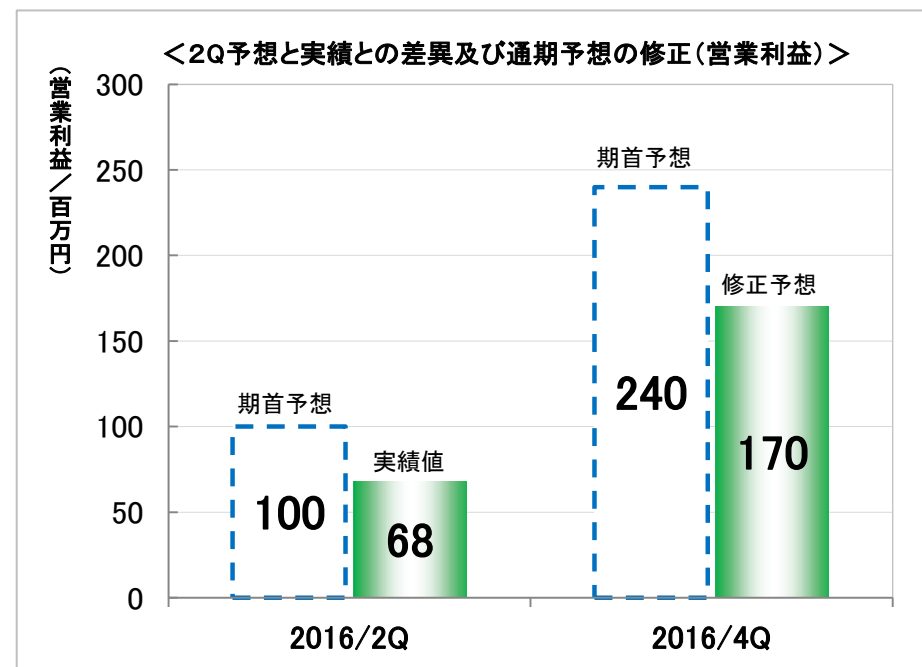
6. 通期の見通し

第2四半期までの実績に加え、消費環境の悪化が懸念される中、
将来成長への継続投資を踏まえて通期予想を修正し、成長軌道の確立を目指す

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	16/2Q (当初予想)	16/2Q (実績)		通期 (期首予想)	通期 (修正予想)
売上高	4,720	4,782	➔	9,600	9,600
営業利益	100	68		240	170
経常利益	80	47		200	140
純利益	20	2		45	25



- 売上高は、好調維持の“Wish upon a star”が全体売上の下支えとなることを想定し、通期予想を据え置き。
- 利益面は、成長戦略投資の実行と財務基盤強化に向けた在庫処分等の構造改革費用を見込み、通期予想を修正。